

## ホース収納式シングルレバー 洗髪シャワー混合水栓

### 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡してください。  
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

## 取扱説明書 FP285S-3 15.04

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡してください。

### もくじ

安全上のご注意	1
特長	3
各部の名称	3
ご使用方法	4
ご使用上の注意	6
冬期凍結の恐れがある場合	9
お手入れ	10
定期的な部品交換のお願い	10
修理を依頼される前に	11
アフターサービスについて	13
保証書	裏表紙

# ●安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 用語および記号の説明

### 注意

…「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



…「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)



…「分解してはいけません！」



…「指示した場所に触れてはいけません！」



…「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)











## 注 意

お湯をお使いになるときに、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。

※ 湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。

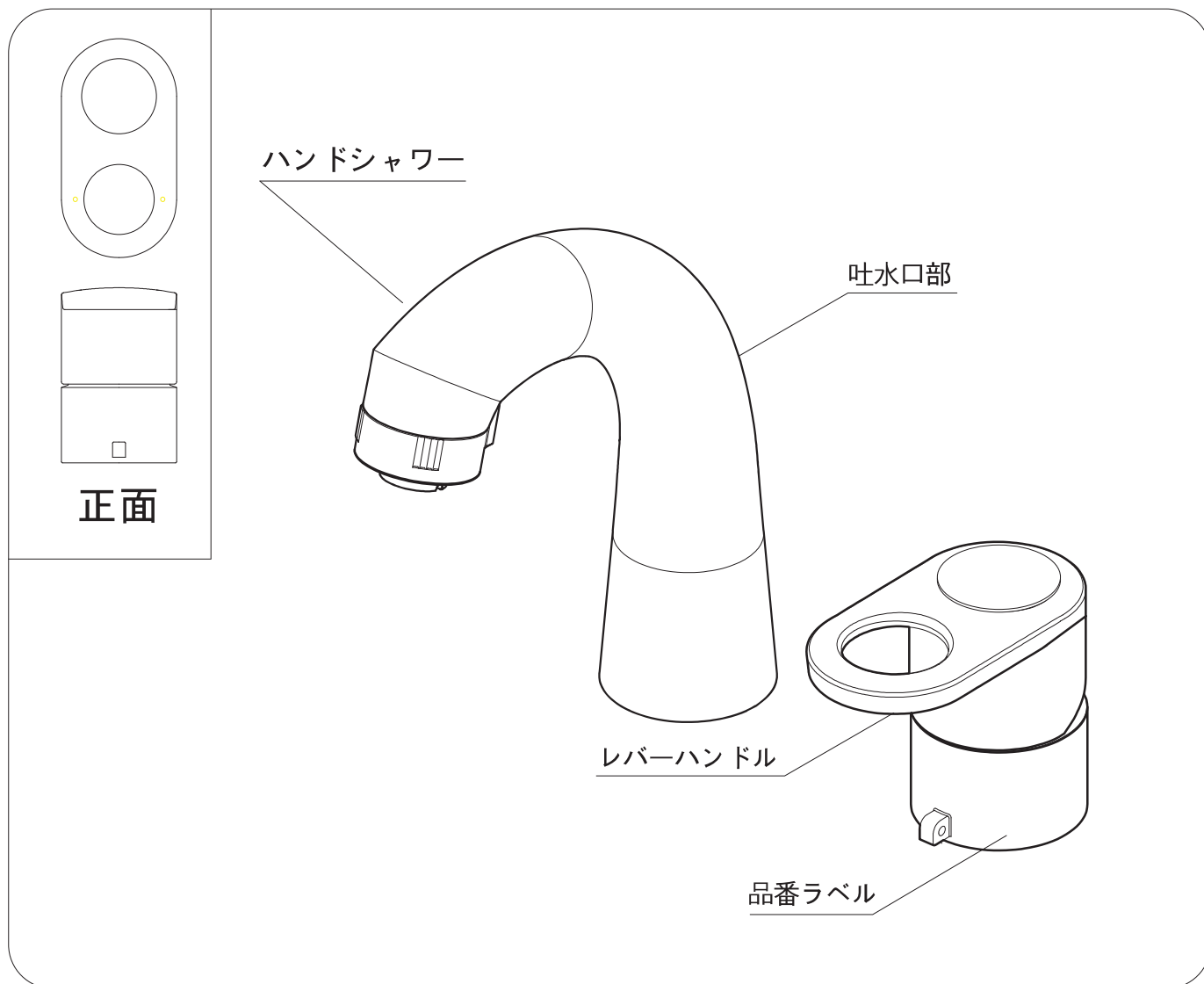


<p>シャワーをお使いになる前に必ず手で適温であることを確かめてください。 ※ 高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
<p>高温の湯をお使いのときには、ホースは高温になっています。 直接、肌を触れないようにしてください。 ※ ヤケドをする恐れがあります。</p>	
<p>他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。 ※ 同時使用のないように注意しないとヤケドをする恐れがあります。 ※ 圧力変動に影響を受けにくい水栓としてサーモスタット付混合水栓をおすすめします。</p>	
<p>お湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にしてから閉めてください。 ※ 次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
<p>ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。 ※ 漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
<p>高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。 ※ 次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
<p>凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。(一般地仕様の場合)寒冷地仕様の場合は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。 ※ 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
<p>修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。</p>	

## ●特長

- レバーハンドルひとつで吐出量と温度を簡単に調節でき、節水効果があります。
- ハンドルシャワーは納めたままでも、引き出しても使用できます。
- 吐出口部が上下しますので用途によりハンドシャワーの高さが変わります。
- 整流吐水⇄シャワーの切替えがワンタッチでできます。
- バルブはセラミックを使用し、優れた耐久性があります。

## ●各部の名称

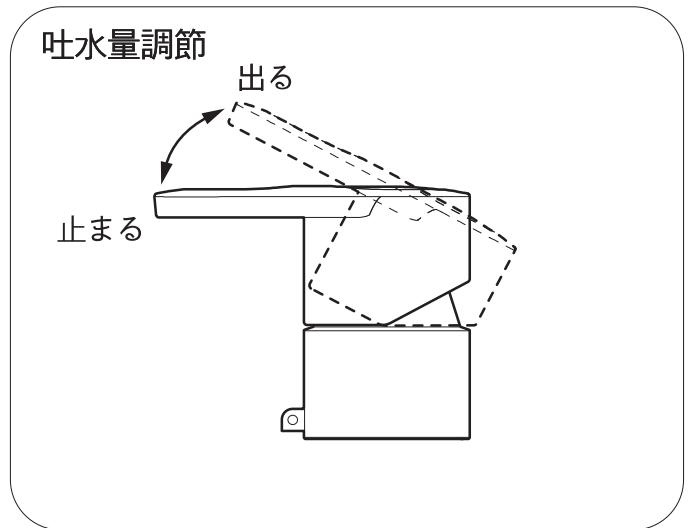


※ 寒冷地用は「冬期凍結の恐れがある場合」の項を参照ください。

# ●ご使用方法

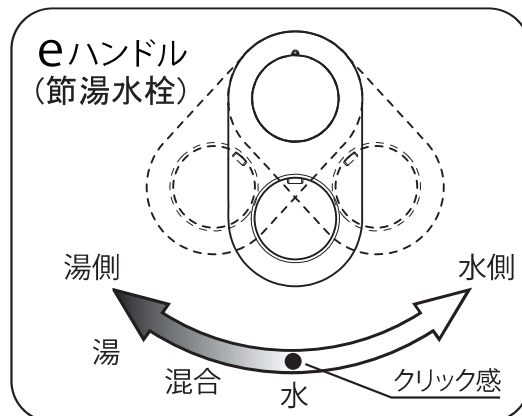
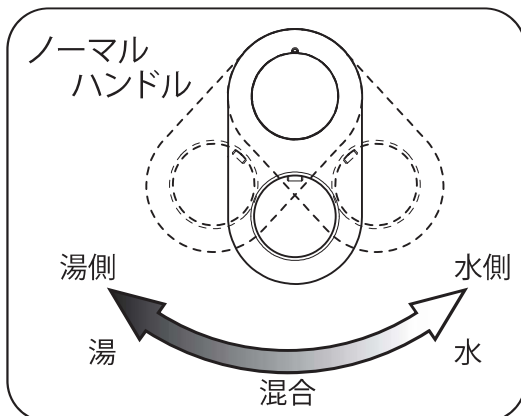
## ●吐出量の調節

レバーハンドルを上げると吐出し、上げ具合で吐出量を調節できます。レバーハンドルは左右どの位置でも下げると止水します。



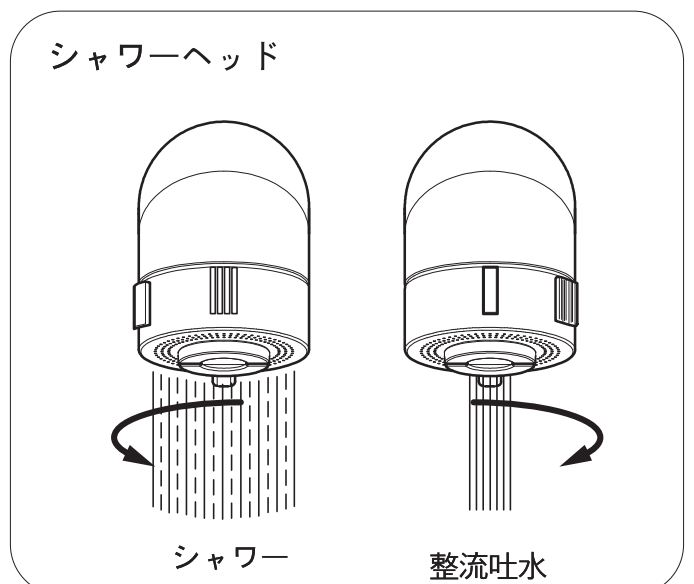
## ●温度の調節

レバーハンドルを左方向に回すと吐出温度が上がり、右方向に回すと下がります。eハンドル(節湯水栓)は、正面に位置するとき水のみ吐出します。



## ●整流吐水・シャワーの切替え

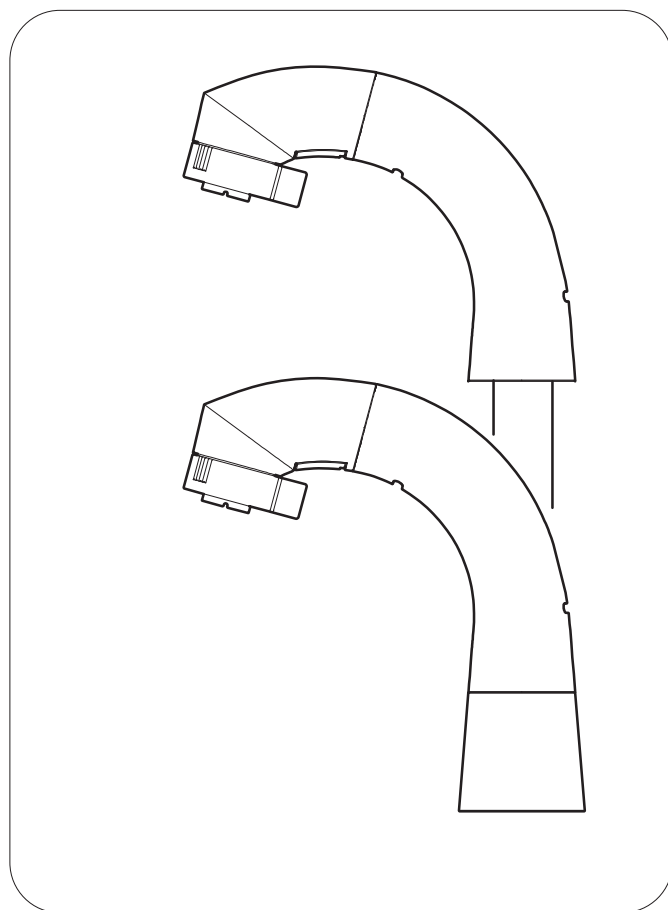
整流吐水使用のときは、シャワーヘッド吐水口を右側へ回してください。シャワー使用の時は、左側へ回してください。



## ●吐水口高さの変更

用途により吐水口の高さを変更してください。

- 上げる時は吐水口部を握りカチッと音がするまで引き上げてください。
- 下げる時は吐水口部を握り吐水口下端までゆっくりと完全に降ろしてください。



## ● ご使用上の注意

### ● ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。  
※ 吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。  
このときは、給湯器の設定温度(能力切替付は能力)を少し下げてください。

### ● レバーハンドルの操作

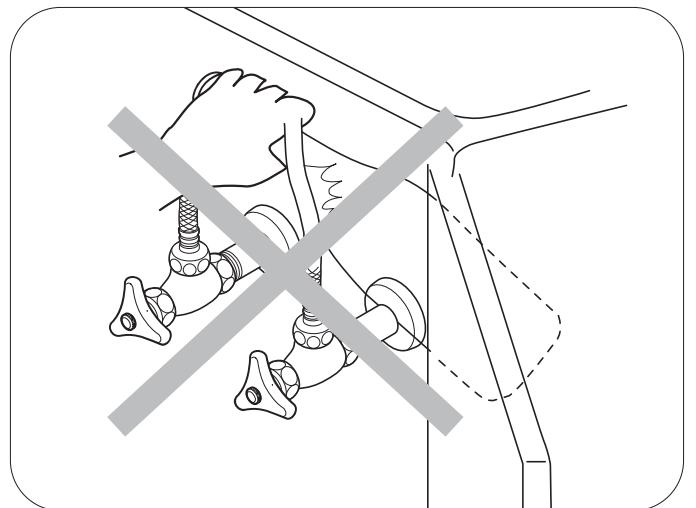
ゆっくり動かしてください。

※ 急に操作すると音が出たり、吐出温度が急に変わります。

### ● キャビネット内の物を出し入れする際のご注意

キャビネット内の物を出し入れするとき、給水・給湯ホースや、シャワーホースに引っ掛けるなど、ホースに無理な力が加わらないようにしてください。

※ 給水・給湯ホースの外れや損傷による漏水の原因となります。

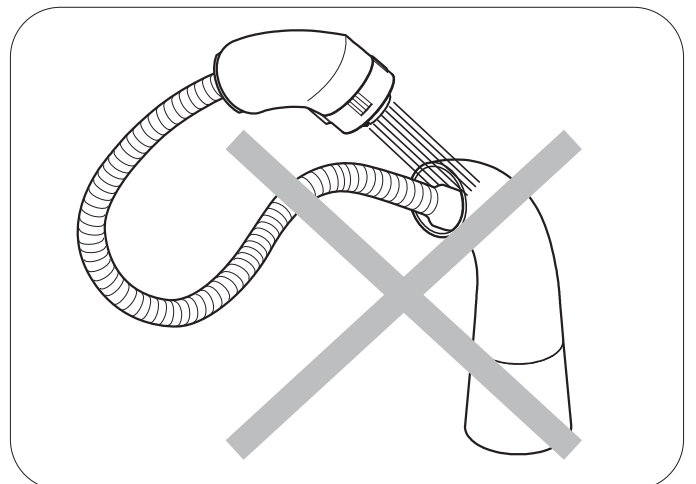


### ● 水かけの禁止

本体のシャワーヘッドの引出し口に直接水をかけないでください。

※ 水がキャビネット内に侵入する場合があります。

※ 水が侵入してもキャビネット内を濡らさないように水受けを別売で用意しています。



## ●水受け(別売)の点検

1ヶ月に1度程度、水受けを点検し水が溜まっていれば捨ててください。

※ 水受けは化粧台に付属の場合もあります。

## ●吐水口高さ変更後の注意

吐水口部を上げてお使いの後は、下に戻してください。

※ 上げたまま長時間放置しますと、昇降不良の原因となります。

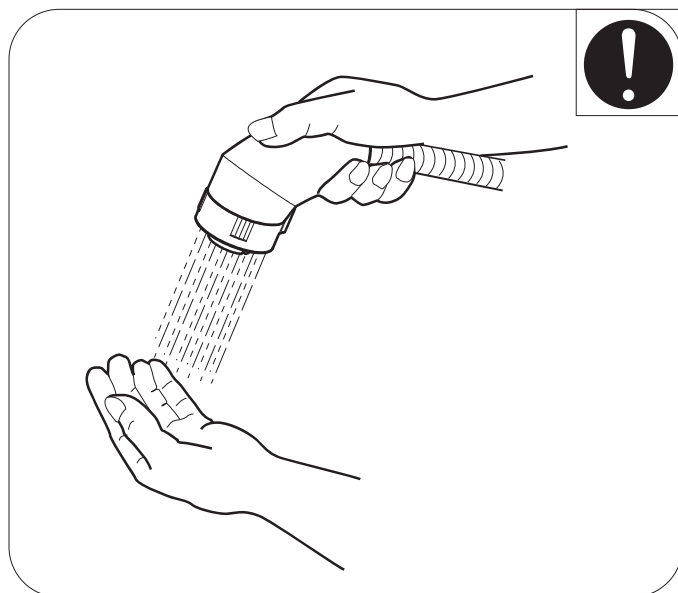
- お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。

※ 湯側から先に開栓すると高温の湯側が吐出しヤケドをする恐れがあります。



- シャワーをお使いになる前に必ず手で適温であることを確かめてください。

※ 高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



- 高温の湯をお使いのときには、ホースは高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。

※ ヤケドをする恐れがあります。





- 他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。  
※ 同時使用のないように注意しないとヤケドをする恐れがあります。  
※ 圧力変動の影響を受けにくい水栓としてサーモスタット付混合水栓をおすすめします。



- お湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にしてから閉めてください。  
※ 次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



- ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。  
※ 漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



- 高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。  
※ 次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



- 凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。  
(一般地仕様の場合) 寒冷地仕様の場合は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。  
※ 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。  
※ ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。



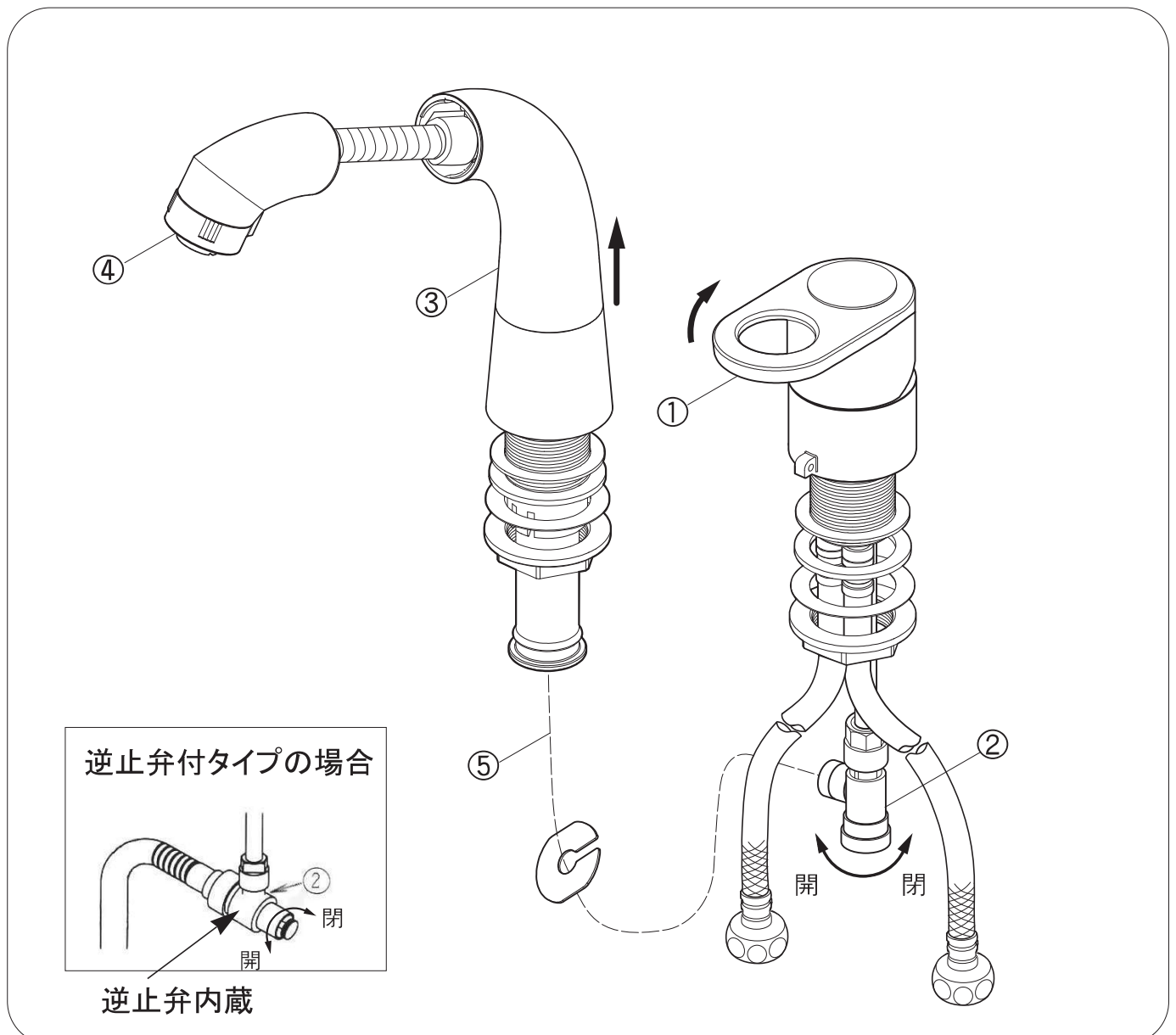
# ●冬期凍結の恐れがある場合

## [寒冷地用]

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. レバーハンドル①を上げる。
3. 水抜栓②を開ける。  
※ 水抜栓から水が出ますので、容器で受けてください。
4. レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回す。
5. ガイド管③を引き上げ、ハンドシャワー④を引き出し、振って水をよく切る。
6. ホース⑤を水抜栓②より上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。
7. 水栓の水が抜けたらレバーハンドル①を閉める。

※ 水抜き完了後は忘れずに水抜栓②を閉めてください。

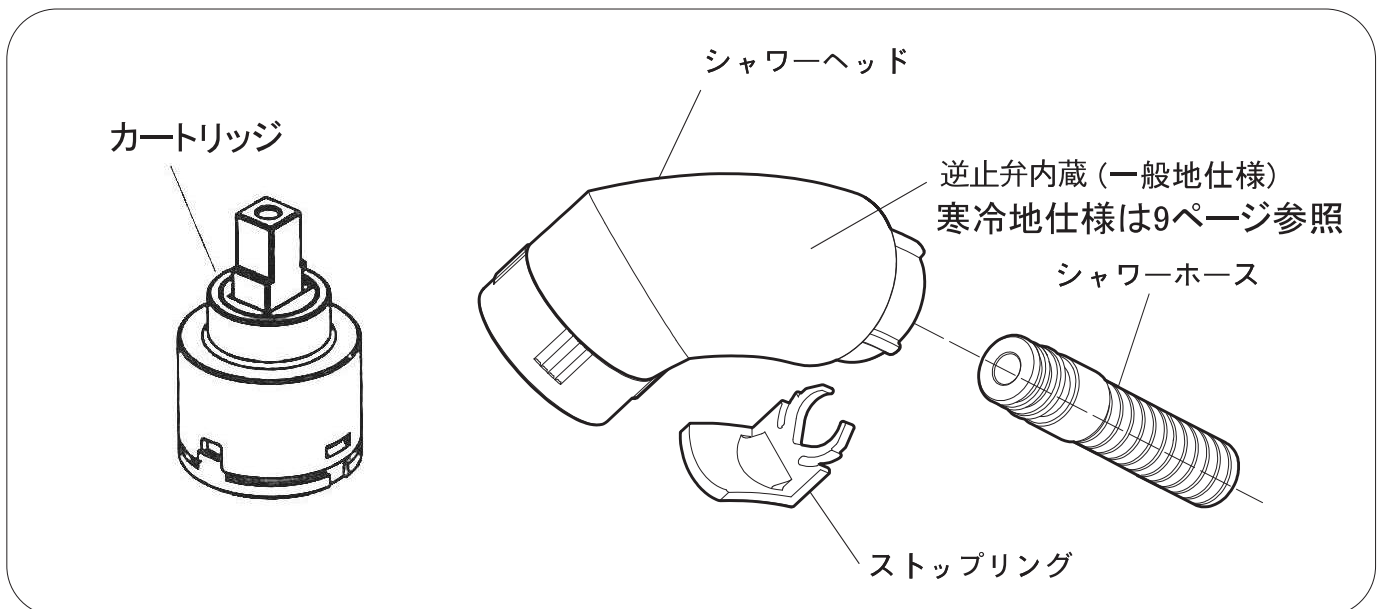


## ●お手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。
- 水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
  - クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
  - 酸性洗剤、塩素系漂白剤
  - ナイロンたわし、ブラシ等
  - シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸性・アルカリ性の洗剤は本体の変形、変色、故障、性能劣化の原因となりますので使用しないでください。また、掃除で酸性洗剤等を使った場合はすぐに本品を十分水洗いしてください。

## ●定期的な部品交換のお願い



交換時期：3~5年    アフターサービス    0120-117-817  
フリーダイヤル

※ 逆止弁の交換は、お求めの取扱店  
または、当社アフターサービスに  
ご依頼ください。

※ 当社アフターサービスにご依頼の場  
合、修理料金は“技術料”+“出張  
料”+“部品代”で構成されています。

## ●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

### ●吐出量が少ないとき

1. 湯側と水側の止水栓が十分開いていることを確認してください。
2. シャワーヘッドのゴミ詰まりがないことを確かめてください。  
※「シャワーヘッドの掃除」の項(P.12)を参照ください。
3. ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切替付のものでは適正能力にセットされていることを確かめてください。

### ●希望の温度が得られないとき

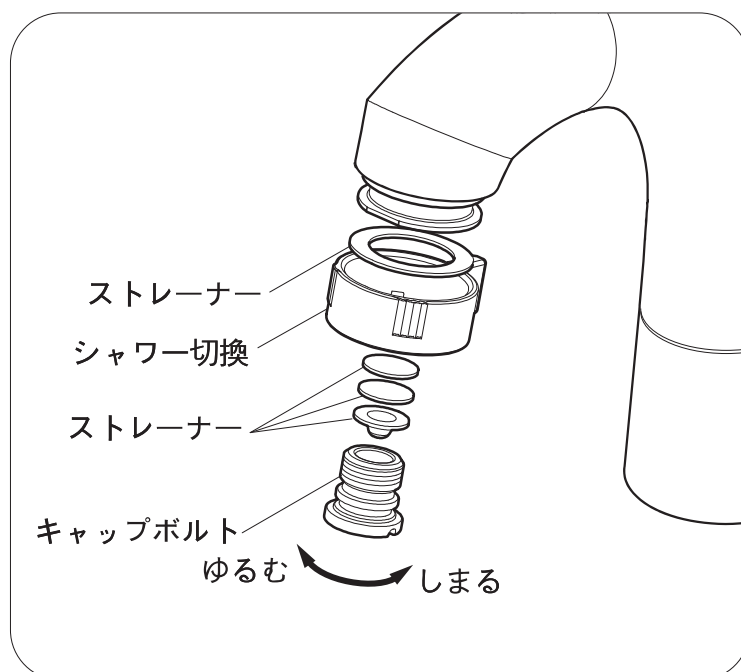
1. シャワーヘッドのゴミ詰まりがないことを確かめてください。  
※「シャワーヘッドの「掃除」の項(P.12)を参照ください。
2. 給湯器から十分な温度のお湯がきていることを確かめてください。
3. 止水栓の開度が適正であることを確かめてください。  
流量調節は次の通りです。
  - (1) レバーハンドルを湯側いっぱい位置に合わせて吐出し、湯側の止水栓で適量に調節します。
  - (2) 水側いっぱい位置に合わせて、湯側いっぱい位置の吐出量と同じになるように、水側の止水栓を調節します。

## ●シャワーヘッドの掃除

シャワーヘッドのストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。

ときどき次の要領で掃除してください。

コインでキャップボルトを回して取り外して、ストレーナーを水で掃除してください。

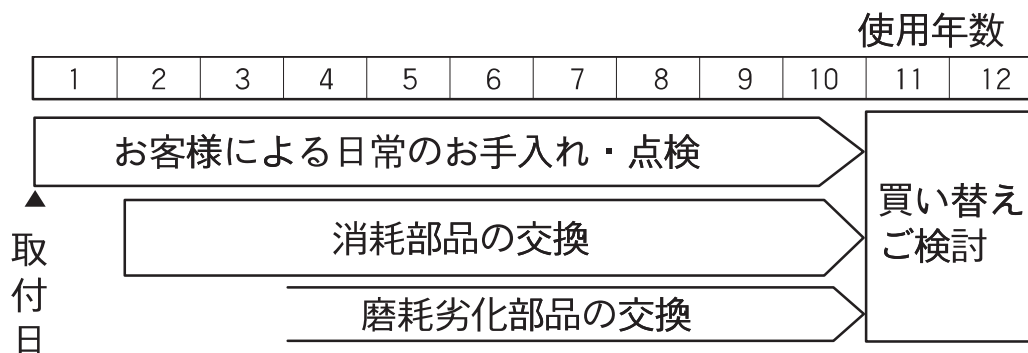


## ●散水板の掃除

散水板の汚れは水切れ性を低下させます。ときどき表面を水ぶきしてください。

※ 上記処置で故障が直らない場合は、取扱店または当社アフターサービスへご相談ください。

# ●アフターサービスについて



## 1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P.11)を参照して確認してください。

### ⚠ 注 意

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。  
※ ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。



## 2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は引渡し日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 3. 修理を依頼されるとき

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

- |                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号               | 2. 商品名    |
| 3. 品番(商品に表示、「各部の名称」の項(P.3)参照) | 4. ご購入日   |
| 5. 故障内容、異常の状況                 | 6. 訪問ご希望日 |